

基本的な
考え方

- 長期化するコロナ禍、毎年のように頻発する自然災害への対処、さらには脱炭素社会に向けた世界的な流れやDXなど、産業・市民生活・コミュニケーションのあり方といった社会の根幹に関する大きな構造転換が起きつつある中、何よりも、市民生活や経済活動の土台である「健康・安全安心」、市民の皆さんに抱える「不安の軽減」にしっかりと取り組んでいくとともに、こうした歴史的な構造変化をチャンスと捉え、カーボンニュートラルなど新たな課題にも挑戦していく。
- 府中市発展の象徴であり市民の誇りでもある「恋しき」「翁座」の有効活用と波及効果の創出、上下の町並み保全、市民プール建設を視野に府中駅南エリア全体での集客力や拠点性・回遊性の一層の向上、「ドローンのまち、教育子育てのまち」の進化、稼ぐ農業・稼ぐ中小企業へのチャレンジなど、府中市ならではのホンモノの価値を磨き、向上させていく「ブランディング」を強力に推し進める。
- また、生涯にわたってスポーツと健康づくりを実践できる新たな仕組みづくり、産学金プロといった様々な主体との連携の発展、性別・年齢・国籍・障害の有無にかかわらず希望する生き方を選択し認めあえるダイバーシティや地域を核とした持続可能な自治振興・協働の仕組みづくり、DXを通じた満足度の高いサービスとコミュニケーション形成など、市役所のあらゆる分野において「つなぐ」「つながる」「つなげる」ことに徹底的にこだわっていく。

令和4年度当初予算額

217.8億円

(前年度比△10.2億円)

令和4年度施政方針（基本姿勢と方向性）

力強い
産業

■コロナ禍により経営に影響を受けた事業者の事業継続支援について、引き続き県の制度をフル活用しながら市独自の対応を柔軟かつ機動的に講じていく。■新たに**中小企業・小規模企業振興基本条例**を制定し、直面する課題やビジネス継続・拡大に向けた方策を官民一体で推進していくとともに、市独自の産業連係室のステップアップとして市内中小企業群の技術力を活かした**共同受発注や技術習得の機能を有したプラットフォームの構築**を視野に、希望する中小企業の皆さんと生産管理システムの導入など生産性向上の仕組みづくりをスタートさせる。■企業人材確保に向けて連携先大学や府中市出身者などをターゲットに、大学入学の早い段階から学生と市内企業を「つなぐ」ふるさとワーキングホリデー就活生・第2新卒者など市内就職希望者向けインターンシップなどを組み合わせた取組を行う。■ドローン及び周辺サービス企業の集積によるビジネスチャンス獲得を目指し、実証実験の場の提供、相談、市内企業とのマッチングを行なう推進体制を強化していく。■カーボンニュートラルも視野に、稼ぐ農業と農業関連ビジネス（アグリビジネス）の創出を目指し、プロ農家育成に加え、半農半X・体験農業をはじめとした多様な担い手の確保、農作業の共同化やスマート化、土づくりからの高付加価値化、マーケティングなど専門人材の確保や商社機能の構築に取り組む。併せて林業分野においても森林のゾーニングや経済循環の仕組みについて検討していく。

人・
つながり

■昨年7月に開設した「ちゅちゅ」に加え、令和4年度からは上下地域の子育て×高齢者介護×健康推進×障害福祉を包括したワンストップ相談を展開するとともに、障害者の働く場、学びや福祉人材の育成、地域の交流・賑わいの総合拠点として**中山間地域の新しいモデルとなる「上下地域共生交流センター（仮称）」**をオープンさせる。■子どもを取り巻くリスクへの予防的支援のため、県とともに開発しているAI見守りシステムの本格運用に向けて府内体制や仕組みづくりを行う。■令和3年度に府中市独自で設置した「教育課程研究センター」を中心に取り組んでいる「ことば探究科」の全学年カリキュラム化を完成させ新しい学びのカタチとして全国に発信していくとともに、全市的に整備したICT機器を活用した授業改善、多様な学びをより進化させる。また、全国から高い注目を集めているコミュニティ・スクールの取組を教育内容や地域活性化と連動させるほか、校内軽食ブースの拡充、新たに**放課後の学習支援**を展開するなど、児童生徒の「学ぶ意欲」と「確かな学力」の向上に取り組む。■上下高校に配置した専任コーディネーターを中心に、地域、市内企業の協力を得ながら、第一線の学習体験や上下高校ならではの魅力づくりに取り組むとともに、これまでの中一貫教育の強みを軸に、幼保小、市内3高校との中高連携、大学・地域・産業界との連携といった切れ目のない学びを一層推進していく。

活気・
賑わい

■オープン以来、月平均1万人超の集客を維持しているi-coreFUCHUでは参加者同士のつながりが芽生え、道の駅ではレストラン事業者の交際、「HAPPY SUNDAY MARKET」や「PicLike」の社会実験など新たなスポットが生まれつつある中、3年後の市民プールの建設をにらみ、府中駅南エリアの集客力・拠点性・回遊性をより高めていくため、i-coreFUCHUに新たなカフェの整備、道の駅直市とレストランの魅力向上、PicLikeを通じた公共空間づくりなど、駅南エリアが生まれ変わる取組を進めるとともに、駅南北間の接続方策、エリア全体を統括するマネジメント機能のあり方の検討に着手する。■大型遊具の完成や学生コンペによるトイレ整備などボムボム周辺での新たな魅力づくりと連動させ、中心部との移動手段を確実にするとともに、回遊性を高める手法について様々な角度から便利で楽しく、ストレスフリーな移動手段の検討を行う。■「恋しき」の価値向上に加え、周辺の空き家・空き店舗を活用し、エリア全体で宿泊・食事などを提供する「分散型ホテル」の実現に向け、民間事業者と連携して、新規プレイヤーの獲得とリノベーションによる町並み全体の活性化を図る。■スポーツの持つ価値・可能性を最大限発揮させるため、市民プールや芝生グラウンドの整備を進めるとともに、EV&ゼロハンバー、市民マラソン、ドローンなどオンライン・インスタントスポーツを推進する。特に、府中市発の新たな女子サッカーチーム設立やプロチームとの連携によるブランド力強化を図る。また、健康への関心が高まる中、子どもからお年寄りまで誰もが健康づくりやスポーツに親しめる生涯スポーツを根底に据えた**新たなスポーツ推進組織の構築**を目指す。■重伝建も視野に上下の町並み保全とブランド化のあり方を検討するとともに、現存する中国地方最古の木造芝居小屋「翁座」の段階的修復と観光資源としての活用を目指す。また、利用者の満足度の向上や稼ぐ観光の推進に向け、地域と連携しながら、魅力あるキャンプ場運営が可能な事業者の選定を行うほか、府中市ならではの「ライフスタイルツーリズム」の実現に向け、「食」や「歴史文化」、「ものづくり」、「アウトドア」にフォーカスした観光コンテンツの造成を促進する。

安全・
安心

■希望する人が、一日も早く安心して**3回目及び小児のワクチン接種**ができるようスピード感をもって取り組んでいくとともに、市保健師チームによる在宅療養者支援や食料・日用品パックの確保、抗原検査キットの独自調達等、**感染予防と万一本の療養生活での不安軽減**に向けてあらゆる手段を講じるなど、医師会、保健所と緊密に連携しながらしっかりと取り組んでいく。また、市民総合アプリ「My府中」をはじめ様々な伝達手段で市民の皆さんに必要な情報を分かりやすくタイムリーに提供していく。■日常からの健康づくり・フレイル予防が何より大切であり、「生涯スポーツ・健康づくり」に親しめる仕組みづくり（再掲）に加え、新たにICTを活用した医療介護データと個人の健康評価を紐づけた「**健康カルテ**」を作成し、**健康リスクの早期予防**に取り組む。また、コロナ禍による受診・検診離れへの対策、オンラインと訪問の利点をミックスした**新たなカタチのオンライン診療の構築**を図る。■公立3病院との連携強化や湯が丘病院の建て替えに向けたハード面・経営面での取組、非常時において着実に判断し行動できる実践的な訓練や体制整備、中須ポンプ場整備、可搬ポンプの効果的な運用や個人が実施する止水板設置支援など自助・共助を組み合わせた総合的な浸水被害対策など、**安全安心の基盤づくり**を行う。また、少子高齢化対策・人口減少抑制に大きな要素を占める「住むこと」に焦点を当て、公営住宅が担う役割のあり方や官民が連携した住宅セーフティネット、成熟した団地の諸課題、子育て世帯、高齢者世帯、外国人といった属性に応じた住み方・住まい方について検証し、府中市に住みたい・住み続けたいライフスタイル重視の「住政策」を構築する。

ICT都市
ふちゅう

■光ケーブル網の市内全域整備完了、新たな双方向型コミュニケーションツールである市民総合アプリ「My府中」など、令和3年度までにデジタルコミュニケーションのハード・ソフト両面のインフラを整備した。令和4年度以降は、**DX基盤をより高度に活用して、市民サービスの質の向上と行政業務の生産性の向上**を図る。■行政窓口での各種申請手続や相談など、ライフケイントに代表される錯綜した処理のストレスの軽減や、証明書発行に代表される簡単な申請処理のスピードアップ、複数の行政サービス拠点をオンラインでつなぐことによる提供サービスの質の向上を狙ったICT化を進める。■都市活動のシミュレーションや分析、防災などの利活用も見据え、オープンデータ化を促進するため、県のモデル事業として府中市や県が保有する都市行政データの3D都市モデルの構築に着手する。

選ばれる

■府中市の認知度を高め、市内外からの共感協働を獲得する上で必要となる「伝える」こと、そして、そのための施策や事業をより深耕させていくため、新たに広報ディレクターを配置するとともに、市役所全体の**広報に対する意識及びスキルを強化**する。■多様な分野の企業、団体と進めている包括連携協定をより強化し、具体的な取組を拡充する。こうした取組の具現化や成果の発信を通じ、新たな連携先の獲得を目指すとともに、今後は、市内・近隣の企業、大学との連携協定などにも取り組んでいく。■少子高齢化に伴う世帯の減少、担い手の高齢化や確保などコミュニティの維持そのものが「待ったなし」の課題に直面する中、町内会、地区社協、民生委員児童委員など各組織と行政が一緒に地域づくりに取り組める「**新たな地域協働・自治振興**」の仕組みづくりに向けた議論をスタートするとともに、地域の拠点となる**公民館の改革と機能強化**に着手する。■i-coreFUCHU、PicLike、観光・農業振興の取組を通じ、新たなアイデアやプレイヤーの獲得、人材ネットワークが生まれつつある、こうした萌芽をより力強いものとし、「府中はおもしろい、何かできる」を府中市のブランドにできるよう、市内外から意欲ある人材のユニークで先導的な提案を募り、その事業化を支援する「**府中市ハッカソン**」をスタートさせる。

重点施策の主なもの

- 事業者支援（感染症対応）
- ものづくり高度連携促進事業
- ふるさとワーキングホリデー×インターーンシップ
- 農業振興ビジョンの実現
- ドローンの実証支援から日本有数の産業の集積地へ

- 府中版ネウボラの実現
- 子どもの予防的見守り支援事業
- 放課後ラーニング・サポート事業
- 特別教室等空調設備整備事業
- 上下高校の魅力開発と支援
- 地域の教育力の向上
- パートナーシップ制度導入

- i-coreFUCHUを活用した賑わいづくり
- グランドデザイン実現に向けたステップ
- 民間事業者のノウハウを活用したキャンプ場づくり
- 歴史的建造物の保存・活用事業
- 観光振興ビジョンの実現
- 歴史的財産保存・活用事業（備後国府跡）
- スポーツを活用した賑わいの創出
- 関係人口の呼び込みと移住定住促進

- 感染症ワクチン接種促進
- 内水浸水対策事業
- 地域防災力強化事業
- 上下地域共生交流センター（仮称）オープン
- フレイル予防・健康習慣事業
- 市民の健康づくり（健診）事業
- 湯が丘病院施設改築事業
- 住生活基本計画の策定

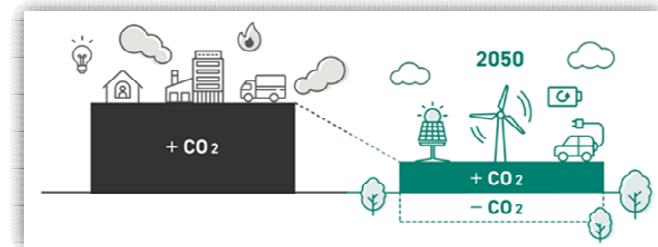
- リモート相談（多点間連携）構築事業
- 市民向け総合アプリ活用
- 市民総合窓口の構築
- マイナンバーカード取得促進
- 3D都市モデルの構築

- 地域おこしハッカソン企画業務
- 広報の体制強化
- 包括連携協定先との積極的な事業展開
- HPリニューアル
- 地域の教育力の向上（再掲）

カーボンニュートラルの推進

【基本的な考え方】

- 脱炭素社会の実現に向けた世界的な流れが巻き起こっており、我が国においても、2050年までに二酸化炭素排出量を半減させるという国際公約のもとカーボンニュートラル、ゼロカーボンの政策が大きな柱として示されている。
- 既に経済界においては、自動車産業ではEVカーハへのシフトといった構造変化への対応、個々の企業が取引を継続する条件として取引先や融資先から省エネ率達成や再生可能エネルギーへの転換が求められるなど、今後の事業継続に関わる大きなルールエンジに直面している。
- 今回のカーボンニュートラルの流れは、産業構造そのものや商取引リレー、さらには雇用・消費行動の変容など市民生活にも影響する大きな構造変化であり、一部の企業、一部の市民だけで取り組んでいく問題ではなくなってきており、行政・企業・市民を挙げてのムーブメントとして位置付けていく必要がある。
- 同時に、これまで「儲からない」「扱い手不足」など構造的な課題にさらってきた林業・農業分野においては、森林や農地（「グリーン」「アグリ」）が、二酸化炭素吸収源として改めて注目される時代がきており、林業・農業の再生、山や農地にヒト・モノ・カネが循環する地域経済システムの仕組みづくりに向けた好機でもある。
- カーボンニュートラルという大きな構造変化をチャンスと捉え、二酸化炭素の排出抑制と吸収源対策の2つの側面を基軸に、「市役所の取組の推進」「市内企業の後押し支援」「市民・企業のムーブメントの形成」の3つの柱を念頭に、府中市としてのカーボンニュートラル政策を構築する。



【取組の方向性】

- 令和4年度に、新たに政策企画課をヘッドにした横断的な市役所自らの取組の推進(一部着手)

- 1 省エネ、再生エネルギー活用、DX推進など市役所自らの取組の推進(一部着手)
- 2 市内企業の取組や課題解決の後押し支援
- 3 未利用材、間伐材を活用した木質バイオマス
- 4 エコ・グリーンビジネスなど、観光・地域振興を組み合わせた農林業の再生
- 5 消費行動、CSRなど市民・企業参加型の資金調達、資金循環の方策

…などについて調査検討を進め、実施可能なものから実行していく。そのために、

- 大学、金融機関との連携協定を含め、外部・有識者からの知見を積極的に獲得する。
- 府中市環境基本計画10か年の中間見直しにあわせ、二酸化炭素排出量、エネルギー消費量など基礎データを収集整理する。

DXの推進

【これまでの取組】

- ① 「つながる」の一歩(令和2年度～)
 - 光ファイバー網全域整備
 - 総合型アプリ「My府中」
 - 防災ダッシュボード

- ② 「つながる」の実現(令和3年度～)
 - 子守りAI「府中っ子」稼働
 - 小・中学校校務支援システム稼働
 - 保育所園務システム稼働
 - フレイルプログラムの展開

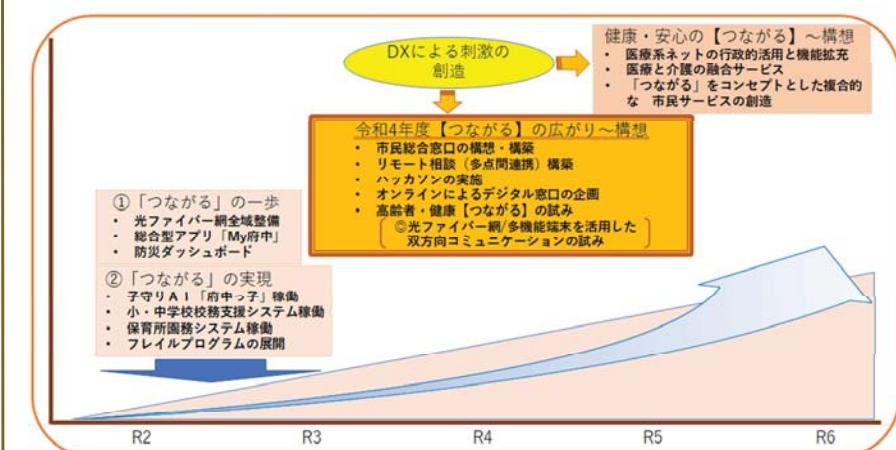
【令和4年度の取組】

- ③ DXによる刺激の創造

感染症の拡大によって人と人との「つながり」に物理的距離が求められるなか、いかにして人と人がつながるか、情報をどのように共有するのかという課題を解決するため、これまでの取組をさらに進化させる。DX(Digital Transformation)が与える刺激により、新たなコミュニケーションを創造する。



これまでの取組を
発展させる



目 次

○令和4年度の重点施策及び主要事業	5
○重点施策を実現する主要事業（主要事業説明シート）	15
○令和4年度当初予算関係資料	49

令和4年度の重点施策及び主要事業

重点施策を実現するための主要事業

合計 23 事業 : 事業費計 1,004,382千円

うち新規事業(一部新規を含む)

17 事業 : 889,482千円

うち継続事業

6 事業 : 114,900千円

1 力強い産業が発展するまち

事業費： 11,000 千円

(1) 「ものづくり」のブランド向上や新産業の創出を進めるとともに、商業をはじめとした中小企業等の活性化を図ります

● ものづくり高度連携促進事業 【新規】 4,800 千円 《資料 1》

企業における I T ・ I o T ・ 生産管理システムの導入などの合理化に向けた企業の取組を支援し、生産性向上や付加価値向上を後押しすることで、将来的には、導入した生産管理システムの事業者間連携による共同受発注などに繋げていきます。

(2) 多様なものづくり産業が集積している強みを活かして、市内外から人材の確保を図ります

● 府中に恋♡来いプロジェクト 【一部新規】 2,000 千円 《資料 2》

ふるさとワーキングホリデーの取組によって府中市の魅力を伝え、訪れてみたい・住んでみたい・働きたいというイメージを醸成させるとともに、実際に府中市で働くことを希望する若い人材を確保するため、市内企業が実施するインターンシップに要する経費の一部を支援します。

● ドローンの実証支援から日本有数の産業の集積地へ 【一部新規】 《別掲》

ドローンの利活用について、事業者と市、事業者と事業者をマッチングする窓口機能を設けるとともに、ドローンの社会実装に必要となる実証実験について、実証実験にかかる費用助成や実証フィールドの提供などの支援に取り組みます。

(3) 「農」の持つ可能性と新たな価値を追求するなど、未来につながる農林業の振興を図ります

● 農業振興ビジョンの実現に向けて 【新規】 4,200 千円 《資料 3》

新規就農者の育成や企業参入等の担い手確保、農地集積や DX 推進による生産性向上や高付加価値化などの施策を進めていくなかで、多様な主体を育成し、持続可能な農業・農村へとつなげていきます。

・ チャレンジファーム新規就農者支援事業 【継続】 1,200 千円

チャレンジファーム広島の研修生が研修終了後、安定した生活基盤のもとで農業経営を行うため、就農後 2 年間に限り、月額 10 万円の生活支援金を給付することで、市の就農支援をアピールし、担い手の確保に努めます。

・ 農業体験を通じた多様な担い手の確保・育成 【継続】 予算は資料 1 4 「観光振興ビジョンの実現」内で実施

農業の受け皿となる組織と連携し、様々な農業体験、地域の食材を使った食

の提供を行うことで、半農半Xや農業法人での雇用など、多様な担い手の確保・育成につなげます。

・ 生産性向上のための機械化・スマート化促進事業 【新規】 2,000 千円

市内の給食等への供給や産直市・食品加工業者等への販売を目的とした作物を栽培するために必要となる農業用機械や施設資材等にかかる経費の一部を支援します。

・ 有機肥料による土づくり推進事業 【新規】 1,000 千円

土壤中の微生物量を化学的指標を用いて表すことのできる技術を利用して土づくりをデータ化（みえる化）し、土づくりへこだわった「府中市ブランド」を創出することで農業の競争力向上、農業所得の向上を目指します。

2 人・つながりが育つまち 事業費：99,823 千円

(1) 安心して子供を産み育てることができる環境をつくります

● 子どもの予防的見守り支援事業 【継続】 36,754 千円 《資料4》

福祉や教育をはじめ子どもの育ちに関する様々な情報を集約し、AIを活用した分析を行うことで、子どもや子育て家庭が抱える様々なリスクの状況を早期に察知して、最適な予防的支援を行う仕組みを構築します。

(2) ふるさとを愛し、地域社会や世界で生き抜く力をもった子供を育成します

● 放課後ラーニング・サポート事業 【新規】 11,520 千円 《資料5》

市内8校（小学校及び義務教育学校前期課程）に、事前申し込み無しで、保護者の経済負担のない放課後学習支援ができる場として放課後ラーニング・サポート（略称「らんさぽ」）ルームを開設します。

● 特別教室等空調設備整備事業 【新規】 7,150 千円 《資料6》

全県的に先駆ける施策として、市立学校のすべての教室において空調設備を設置し、安全・安心で最新な学習環境を児童生徒に提供していくために、現在未設置となっている特別教室に空調を設置します。

● 上下高校の魅力開発と支援 【継続】 6,888 千円 《資料7》

新たに配置した専任のコーディネーターとともに、高校と地域が中心となり、市の施策との連携を図りながら既存事業のブラッシュアップと新たな魅力開発に取り組みます。

(3) 多様な人材が活躍できる土壌を育てます

● 地域の教育力の向上～公民館から広がる可能性とチャンス～【新規】37,511千円 《資料8》

公民館が地域とのコーディネーターとなり、地域全体で子供たちの教育に参画し、そのプロセスで地域人材が活躍する地域学校協働活動を促進させ、地域の人口や地理的条件に関わらず、ＩＣＴの活用や公民館の連携により学習機会を作りだすため、諸田公民館、河佐公民館にも活動の中心となる職員を配置し、公民館活動の底上げを図ります。

3 活気・賑わいを生むまち 事業費：669,606千円

(1) 市民・団体・企業・行政の総力で地域の魅力を向上し、賑わいと活力を創出します

● 駅周辺の賑わいづくり 【一部新規】 206,984千円 《資料9・10》

グランドデザインの実現に向け、i-coreFUCHU、道の駅、文化センター、天満屋等の拠点施設が集中する駅南エリア「にぎわいと交流のエリア」において、隣接する市民プール計画や公共空間（仮称）PicLikeParkでの社会実験を踏まえ、それぞれの拠点施設での取組を周辺へ波及させることでエリア全体の賑わいを創出します。

・ i-coreFUCHU を活用した賑わいづくり 【継続】 11,984千円

i-coreFUCHU のさらなる利用者層の獲得拡大に向け、未整備エリアにおいてオープンカフェなどを整備するための設計を行い、施設のブランディング工場を目指します。

・ PicLike （ピックライク） 【継続】 7,000千円

府中駅南の公共空間（仮称）PicLikePark の整備に向け、昨年度出たアイデアを元に整備後の具体的なイメージを想定した社会実験を実施します。

・ 府中駅周辺整備に向けた構想 【新規】 10,000千円

府中駅南エリアで行われている取組により生じる賑わいを駅北エリアへ波及させるため、駅南北市街地の接続方法について関係団体、交通事業者等の意見調整を図りながら、整備手法を検討します。

・ ひろしま建築学生チャレンジコンペトイレ 【継続】 51,000千円

令和3年度実施した「ひろしま建築学生チャレンジコンペ」において、全国の学生からの応募の中でデザイン性に優れ、景観にマッチした提案であった「トイレが集まる、トイレに集まる」を採用し、トイレユニットをホールで繋げる

特色を持った年齢、性別、障がいの有無に関わらず誰もが利用しやすい機能性の高いトイレを整備します。

・河川敷及び周辺道路の整備 【新規】 127,000 千円

こどもの国周辺の河川空間において、子どもが水遊びを通して自然に親しみ学べる川岸、市民や来街者がゆったりと過ごせる河川広場等の整備を行うとともに、駅周辺エリア等への人の流れを作るため、道路整備（府中8号線外）を行います。

・市民プールの建設 【新規】 《別掲》

府中駅南側に新たな市民プールを建設し、i-coreFUCHU や道の駅びんご府中など府中駅周辺の新たな人の流れをつくり、エリア全体の賑わいにつなげます。

● ドローンの実証支援から日本有数の産業の集積地へ 【一部新規】 26,962 千円
《資料11》

ドローンの利活用について、事業者と市、事業者と事業者をマッチングする窓口機能を設けるとともに、ドローンの社会実装に必要となる実証実験について、実証実験にかかる費用助成や実証フィールドの提供などの支援に取り組みます。

(2) **市民に愛され、市外在住者からも選ばれる「社会増減ゼロ」のまちを目指します**

● 府中に恋♥来いプロジェクト 【一部新規】 《再掲》

ふるさとワーキングホリデーの取組によって府中市の魅力を伝え、訪れてみたい・住んでみたい・働きたいというイメージを醸成させるとともに、実際に府中市で働くことを希望する若い人材を確保するため、市内企業が実施するインターンシップに要する経費の一部を支援します。

(3) **歴史・文化・ものづくり・食などの多彩な地域資源を活かした観光振興により、地域を活性化します**

● 民間事業者のノウハウを活用したキャンプ場づくり 【新規】 3,300 千円
《資料12》

市内の3つのキャンプ場において、更なる誘客に向けた利用者目線による施設運営や魅力的な自主事業を実施していくために新たな事業者を選定し、利用者にとって快適で満足度の高い受入環境づくりを目指します。

● 歴史的建造物の保存・活用事業 【一部新規】 24,837 千円 《資料13》

・分散型ホテルを核としたまちづくり 【新規】 987 千円

恋しきや石州街道出口通りなどの観光資源を一体的に活用していくため、恋しきの離れや古民家などをリノベーションして、民間事業者や地元住民と連携し、分散型ホテルを核としたまちづくりに取り組みます。

・恋しきの保存・活用 【継続】 22,720 千円

恋しきが持つ建物としての魅力を保存するため、主屋や塀、離れなどを改修するとともに、その保存と活用に向けた基本的な構想を策定します。

・翁座の保存・活用 【継続】 1,130 千円

上下地域の観光拠点施設として週末や観光シーズンに一般公開することで、年間を通じた上下白壁の町並みエリア内での回遊性を高めます。

● 観光振興ビジョンの実現 【継続】 23,879 千円 《資料14》

観光商品づくりから受入環境の整備、誘客につながるプロモーションまでの継続した取組を行うとともに、観光を活用した地域振興に取り組む住民団体を支援し、稼ぐ観光の実践につなげます。

また、隔年での調査となる観光指標のモニタリングを行い、これまでの進捗状況を評価します。

● 歴史的財産保存・活用事業(備後国府跡) 【継続】 22,336 千円

《資料15》

国府関連遺跡である伝吉田寺地区、金龍寺東地区において確認発掘調査を引き続き実施するとともに、「整備基本計画」を策定することで史跡指定地等の史跡公園整備等の構想や具体化を図ります。

(4) すべての人がスポーツを楽しめる環境を整備するとともに、スポーツによる地域の賑わいを創出します

● スポーツを活用した賑わいの創出 【新規】 361,308 千円 《資料16》

市民プールや芝生グラウンドなどスポーツ施設の充実を図り、スポーツを活用した地域の賑わいを創出することで、健康で活力ある「スポーツのまち府中市」を目指します。

・新たな市民プールの建設 【新規】 55,000 千円

府中駅南側に新たな市民プールを建設し、i-coreFUCHU や道の駅びんご府中など府中駅周辺の新たな人の流れをつくり、エリア全体の賑わいにつなげます。

・人工芝グラウンドの整備 【新規】 300,000 千円

上下運動公園に人工芝多目的グラウンドを整備し、県内外からスポーツ合宿

や大会を誘致することで、地域経済の活性化につなげていきます。

・プロスポーツチーム等との連携 【新規】 500 千円

プロスポーツチーム等と連携・協働することで、トップアスリートと交流する機会を創出し、スポーツへの興味・関心を高めています。

・新たな総合型のスポーツ推進組織の構築 【新規】 5,808 千円

従来の体育活動に関する活動だけでなく、新たなスポーツの価値（健康長寿・フレイル予防、地域経済の活性化等）を踏まえたスポーツ推進を担う新たな組織の構築を目指します。

4 安全・安心が持続するまち 事業費 201,227 千円

(1) 自然災害をはじめとした様々なリスクから命を守る取組を推進します

● 内水浸水対策事業 【一部新規】 ※下水道事業会計 16,956 千円

《資料17》

浸水被害の大きかった中須西之町を含む中須排水区について、ポンプ機能の強化を図るため、新たに中須ポンプ場を整備するとともに、市内全域での対策としては引き続き、住民が個別に行う止水板の設置や住宅の嵩上げに対して支援することで、浸水のリスクを軽減します。

(2) 生涯を通じた市民の健康づくりを推進します

● フレイル予防・健康習慣事業 【一部新規】 ※介護保険特別会計 51,354 千円

現役世代から高齢期におけるフレイル予防対策として、ＩＣＴなどのデジタル技術を活用した年代や状態に応じたフレイルプログラムに取り組むことで、健康寿命の延伸を図ります。

● 市民の健康づくり（健診）事業 【新規】 13,458 千円 ※うち国民健康保険特別会計 12,219 千円 《資料19》

国民健康保険加入者を対象にしたドック健診については、自己負担額を下げるなどの受診しやすい環境を整えるとともに、受診率の低い40代、50代向けに働く世代が気軽に受診できるような健診メニューを新たに作り、受診者の増加を図ります。

● 湯が丘病院施設改築事業【新規】 ※病院事業会計 106,400 千円

《資料20》

令和8年度中のリニューアルオープンに向けて施設改築のための基本計画の策定及び基本設計・実施設計を行うとともに、引き続き、病院の安全を守るためのレッドゾーンの解消に取り組みます。

(3) 安全・安心で、快適な暮らしを実感できる生活環境を確保します

● 住生活基本計画の策定(府中市の暮らし方) 【継続】 13,059 千円

《資料21》

生活を支える基盤となる住宅施策に行政が積極的に関わることにより、豊かなライフスタイルの構築やコミュニティの維持・向上を図り、安全で安心して暮らし続けられるまちづくりを目指します。

・住生活基本計画の策定 【継続】 4,298 千円

広島県の「ゆとりと魅力ある居住環境の創出モデル事業」と連携した住生活基本計画を策定し、地域の特性を生かしたゆとりと魅力ある居住環境の将来ビジョンを示します。

・市営住宅長寿命化計画の改定 【継続】 3,461 千円

市営住宅ストックの現状と課題を把握し、活用及び長寿命化に資する改善のあり方を検討し、効率的かつ市の政策に即した維持管理及び円滑な整備を推進します。

・空家等対策計画の推進 【継続】 5,300 千円

特定空家等の老朽化が進み、倒壊の危険性が増しているものについては、法による措置を進めるとともに、行政代執行の手続きなどにより近隣住民の安全を守ります。

5 ICT都市ふちゅうの実現 事業費：20,526 千円

(1) Society5.0 を見据え、様々な分野でのICT等の未来技術の導入を目指します

● リモート相談（多点間連携）構築事業【新規】 20,526 千円 《資料22》

業務効率と市民サービスの平準化（どこでも、同等のサービスの提供）、および市民の利便性の向上を目指すため、離れた拠点施設間でのリモート相談システムを構築します。

6 「選ばれるまち」ふちゅうの実現 事業費：2,200千円

(1) 様々な分野の府中市の魅力を「オール府中」で発信します

● 地域おこしハッカソン企画業務～DX～【新規】2,200千円 《資料23》

地域の賑わいや町おこしなど市の取り組んでいる課題についてハッカソンによる手法で取り組むこととし、テーマ企画、運営、優秀者へのインセンティブ企画などを民間主体で実施します。

● 地域の教育力の向上～公民館から広がる可能性とチャンス～【新規】《再掲》

公民館が地域とのコーディネーターとなり、地域全体で子供たちの教育に参画し、そのプロセスで地域人材が活躍する地域学校協働活動を促進させ、地域の人口や地理的条件に関わらず、ＩＣＴの活用や公民館の連携により学習機会を作りだすため、諸田公民館、河佐公民館にも活動の中心となる職員を配置し、公民館活動の底上げを図ります。

重点施策を実現する主要事業 (主要事業説明シート)

目 次

資料1	【新規】 ものづくり高度連携促進事業	- 17 -
資料2	【一部新規】 府中に恋♡ 来いプロジェクト	- 18 -
資料3	【新規】 農業振興ビジョンの実現に向けて	- 20 -
資料4	【継続】 子どもの予防的見守り支援事業	- 22 -
資料5	【新規】 放課後ラーニング・サポート事業	- 23 -
資料6	【新規】 特別教室等空調設備整備事業	- 24 -
資料7	【継続】 上下高校の魅力開発と支援	- 25 -
資料8	【新規】 地域の教育力の向上～公民館から広がる可能性とチャンス～	- 27 -
資料9	【継続】 i-coreFUCHUを活用した賑わいづくり	- 28 -
資料10	【一部新規】 グランドデザイン実現に向けたステップ	- 29 -
資料11	【一部新規】 ドローンの実証支援から日本有数の産業の集積地へ	- 31 -
資料12	【新規】 民間事業者のノウハウを活用したキャンプ場づくり	- 32 -
資料13	【一部新規】 歴史的建造物の保存・活用事業	- 33 -
資料14	【継続】 観光振興ビジョンの実現	- 35 -
資料15	【継続】 歴史的財産保存・活用事業(備後国府跡)	- 37 -
資料16	【新規】 スポーツを活用した賑わいの創出	- 38 -
資料17	【一部新規】 内水浸水対策事業	- 40 -
資料18	【一部新規】 フレイル予防・健康習慣事業	- 41 -
資料19	【新規】 市民の健康づくり（健診）事業	- 42 -
資料20	【新規】 湯が丘病院施設改築事業	- 43 -
資料21	【継続】 住生活基本計画の策定（府中市の暮らし方）	- 44 -
資料22	【新規】 リモート相談（多点間連携）構築事業	- 46 -
資料23	【新規】 地域おこしハッカソン企画業務～DX～	- 47 -

ものづくり高度連携促進事業【新規】

担当課	商工労働課商工振興係
電話番号	0847-43-7190

1 事業の目的

府中市産業振興ビジョンでは、市内産業の生産性向上や付加価値向上を目標として、IoTや生産システムの合理化、デジタル化などの推進を掲げている。

しかし、市内中小零細製造業の生産管理体制の現状は、稼働状況や納期の把握を社員の経験と知識に基づき行っているケースが見受けられ、機会損失や利益率の低下を招いている可能性が考えられる。

さらに近年、事業活動において、データに基づいた生産・品質管理などの高度化が可能になっていることから、令和4年度はIT・IoT・生産管理システムの導入などの合理化に向けた企業の取組を支援するなど、「土台作り」の年と位置付け、生産性向上や付加価値向上を後押しする。

また、将来的には、導入した生産管理システムの事業者間連携による共同受発注や高度機械オペレーターの教育などの展開も見据える。

2 事業内容

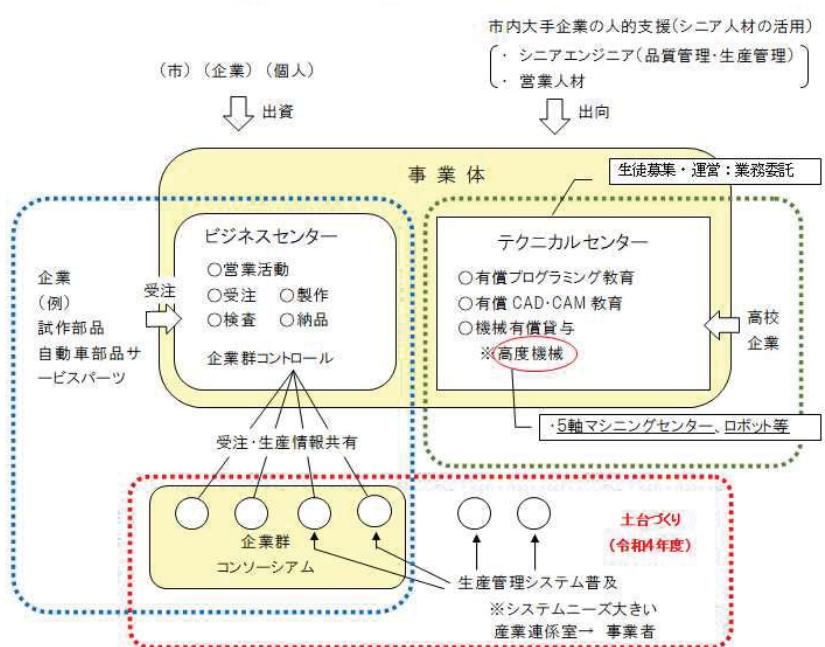
(1) ソフトウェア費、ITツール導入、設備のIoT化など生産性向上に資する取組にかかる経費を支援する。

【補助上限】60万円

【補助率】2／3

(2) 事業者のDX化の機運醸成のため、セミナーの開催や専門家の派遣、広報などの周知活動を行う。

企業群とテクニカルセンター構想図(イメージ)



3 当初予算額 4,800千円

財源内訳	国費	県費	市債	その他	一般財源
					4,800

府中に恋♥来いプロジェクト【一部新規】

～ふるさとワーキングホリデー × インターンシップ～

担当課	①商工労働課（インターナショナル） ②地域振興課（ワーキングホリデー）
電話番号	①0847-43-7190 ②0847-43-7118

1 事業の目的

若年層や生産年齢層の人口減少が顕著となる中、市内企業においては深刻な人材不足が生じ、大きな経営課題となっている。そのため、従来から、学生等と市内企業のマッチング機会を創出し、地元企業への就職につなげていくことを目的に、市独自又は広域的に合同説明会等を実施してきた。

しかし、学生等が就職活動をスタートさせる時期にあわせて情報を提供するだけでは、企業情報に限らず、「府中市の魅力」「府中市の強み」を十分に伝えきれてないことから、ターゲットとタイミングを明確化しながら、もっと早期からの府中市のイメージ刷り込みと醸成が必要である。

現在、本市では、ふるさとワーキングホリデーを実施し、就職を意識した学生等に限らず、府中市に興味を抱く学生等に長期休暇を利用して府中市に滞在してもらう取組を行っている。この機会を活用して府中市の魅力を刷り込み、訪れてみたい・住んでみたい・働きたいというイメージを醸成させるとともに、イメージを実現へと導くストーリー性のある一体的な取組の一環として、市内企業による人材確保の取組をサポートする。

2 事業内容

大学1・2年生をはじめ、多くの若者に府中市への「想い」を醸成してもらうため、ふるさとワーキングホリデーを活用して、様々な情報を発信する。

さらに、実際に府中市で働くことを希望する若い人材を確保するため、市内企業が実施するインターンシップに要する経費の一部を支援する。

【支援対象】

交通費、宿泊費、企業での研修等に必要な経費

«ふるさとワーキングホリデー»(継続)

休日に、府中市の歴史や自然、文化に触れ、地域での暮らしを体感。
実際に地域を肌で感じ、地域の人々と接することで、より「府中市」を深く知ってもらい、市内企業への就職、「関係人口」の創出、将来の移住者獲得につなげる。



«インターンシップ推進事業»(新規)



人材を確保するため、就職活動を行う学生等をインターンシップを通じて受け入れたい市内企業をサポート。

参加・受入に係る経費の一部を府中市が支援!!

【一体的な取組イメージ】



3 当初予算額 2, 000千円

財源内訳	国費	県費	市債	その他	一般財源
					2,000

(内訳)

事業	事業費	国費	県費	市債	その他	一般財源
インターンシップ推進事業	1,000					1,000
ふるさとワーキングホリデー	1,000					1,000

農業振興ビジョンの実現に向けて【新規】

担当課	農林課農業振興係
電話番号	0847-43-7131

1 事業の目的

府中市では現在、「次世代につなぐ持続可能な農業・農村の確立」を将来像とし、「活力ある強い農業の実現」及び「魅力ある農村の創造」を基本目標として「府中市農業振興ビジョン」を策定中である。

計画では若者が夢をもって就農を志すことができる魅力ある産業としての農業を確立し、個人や法人、企業等が各々の生産活動を通じて地域の社会経済に活力をもたらす農業を目指している。また、新規就農者の育成や企業参入等の担い手確保、農地集積やDX推進による生産性向上や高付加価値化、アグリビジネスの展開など必要な施策を着実に進めていくなかで、多様な主体を育成し、農地及び農業用施設等農村資源も含めて次世代に引き継ぐことで、持続可能な農業・農村へつなげていく。

■農業ビジョンにおける目標

基本目標I 「活力ある強い農業の実現」

- ① 明日の農業を担う人材・組織の育成
- ② 農業の競争力の向上
- ③ 新鮮で安心な食料供給と食に対する理解の促進
- ④ 活力ある農業を支える基盤の整備・維持

基本目標II 「魅力ある農村の創造」

- ① コミュニティの活力向上と農村の魅力づくり
- ② 農地等農村環境の保全・活用
- ③ 都市と農村の連携交流による農業理解の促進

次世代につなぐ持続可能な農業・農村の確立



2 事業内容

(1) 多様な担い手の確保・育成

～基本目標I ①明日の農業を担う人材・組織の育成の取組～

ア チャレンジファーム新規就農者支援事業

チャレンジファーム広島の研修生が研修終了後、安定した生活基盤のもとで農業経営を行うため、就農後2年間に限り、月額10万円の生活支援金を給付し、市で新規就農するメリットをアピールし、担い手の確保に努める。

イ 農業体験

農業法人を中心に、農業の受け皿となる組織と連携し、様々な農業体験、地

域の食材を使った食の提供を行い、その新鮮さやおいしさを知ってもらい、府中市産農産物のファンを増やす地域主体のイベント開催に向けた専門家派遣を行い、半農半Xや農業法人での雇用など、多様な担い手の確保・育成につなげる。

(2) 生産性向上のための機械化・スマート化促進事業【新規】

～基本目標 I ②農業の競争力の向上の取組～

水田農業の収益性向上と担い手育成を進めるため、アスパラガス、キャベツ、はくさい、ほうれんそう及び果樹等の高収益作物の生産性向上、農作業の機械化をはじめとしたスマート農業技術等の効果的な導入と農業機械の共同利用体制普及に向けて、振興作物の生産拡大、産地化を図り競争力の向上を目指す。

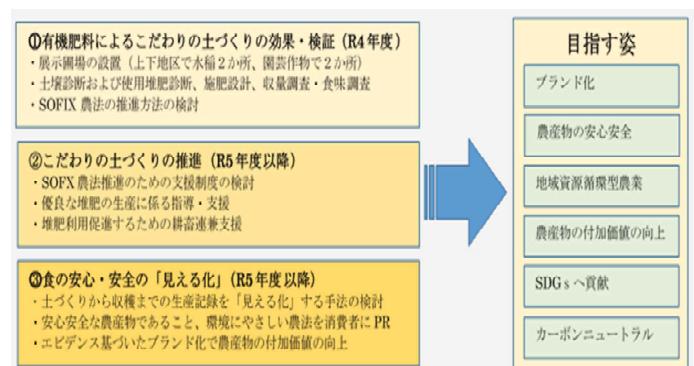


(3) 有機肥料による土づくり推進事業【新規】

～基本目標 I ②農業の競争力の向上の取組～

農業の基本である土づくりにおいては、有機肥料（たい肥や緑肥など）を使用することで化学肥料の使用を控えることができるが、それは大変難しく、多くの経験と勘が必要とされていた。今まで勘と経験に頼っていた施肥管理（土づくり）に対して、土壤中の微生物量を化学的指標を用いて表すことのできる技術(SOFIX)を活用して、地域資源循環型農業を推進し、環境にやさしい農業によりSDGsやカーボンニュートラルに貢献する取り組みを始める。

土づくりをデータ化（みえる化）し、農産物の安心・安全を消費者へ届ける取り組みとして、土づくりへこだわった「府中市ブランド」を創出し、農産物の付加価値をたかめ、本市農業の競争力向上、農業所得の向上を目指す。



3 当初予算額 4, 200千円

財源内訳	国費	県費	市債	その他	一般財源
					4,200

(内訳)

事業	事業費	国費	県費	市債	その他	一般財源
多様な担い手の確保・育成	1,200					1,200
機械化・スマート化促進事業	2,000					2,000
土づくり推進事業	1,000					1,000

子どもの予防的見守り支援事業【継続】

担当課	女性こども課女性応援係
電話番号	0847-43-7216（内線：141）

1 事業の目的

子どもの育ちにつながるリスクを早期に把握し、関係者で情報共有して予防的支援を行うことにより、問題が未然に防止され、子どもが心身ともに健やかに育つことを目指す。

2 事業内容

(1) 仕組みの構築

福祉や教育をはじめ子どもの育ちに関係する様々な情報を集約し、AIを活用した分析を行うことにより、子どもや子育て家庭が抱える様々なリスクの状況を早期に察知して関係者間で情報を共有し、最適な予防的支援を継続的に行う仕組みを構築する。

(2) 令和3年度の取り組み

- ア データ分析及びAIモデルの生成・開発
- イ 予測結果等表示アプリ開発
- ウ 既存基幹システムのデータ抽出に係る改修及びデータ連携環境構築
- エ 予防的支援を実施するための業務プロセスの見直し

(3) 令和4年度事業概要

- ア AI子ども見守りシステムを活用した予防的支援
 - ・システムを活用した予防的支援の運用開始
 - ・業務及びシステムの改善
- イ AIのリスク予測精度向上
 - ・AIへ関係職員の知見の反映
 - ・AIの解析、学習のためのデータ拡充

3 当初予算額 36,754千円

財源内訳	国費	県費	市債	その他	一般財源
	1,229	29,576			5,949

放課後ラーニング・サポート事業【新規】

担当課	学校教育課指導係
電話番号	0847-43-7178

1 事業の目的

児童が選んで参加でき、日々の学習を確認・定着させることのできる「新しい学びの場所」を放課後の校内に設置することで、「学力向上」と「学習意欲の維持向上」に資する学習環境を整備する。

教員が運営に関与しなくとも運営可能な公立学校における公営塾的機能を持たせ、放課後ラーニング・サポート（略称「らんさぼ」）ルームを開設する。

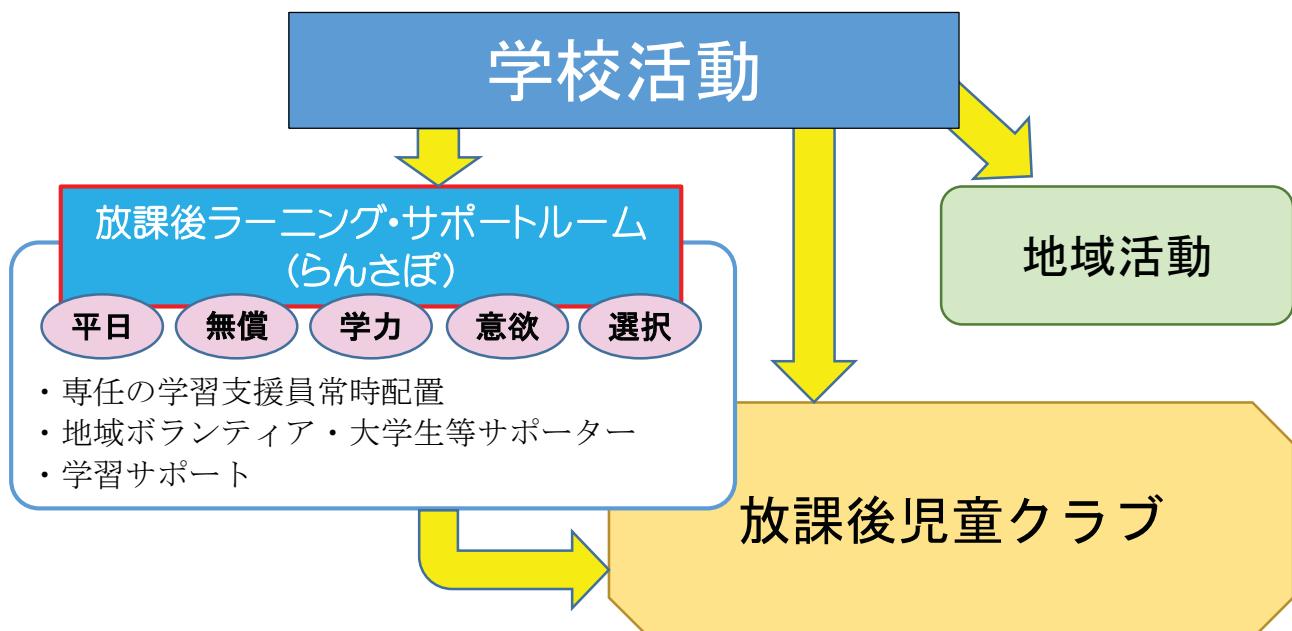
2 事業内容

市内8校（小学校及び義務教育学校前期課程）に、放課後ラーニング・サポート（略称「らんさぼ」）ルームを開設する。

「らんさぼ」には、放課後学習支援員を常時配置し、コミュニティ・スクールの実践知見や地域ボランティア、近隣大学の協力を得て支援体制を整えて運営する。

事前申し込みなしで、保護者の経済負担のない放課後学習支援として実施する。

学習の遅れや勉強に苦手意識を感じている主に低学年児童を支援対象として開設し、継続的な展望として、小学校1年生から6年生までの全児童対象を見通す。



3 当初予算額 11,520千円

財源内訳	国費	県費	市債	その他	一般財源
	7,680				3,840

特別教室等空調設備整備事業【新規】

担当課	学校教育課学事係
電話番号	0847-43-7193

1 事業の目的

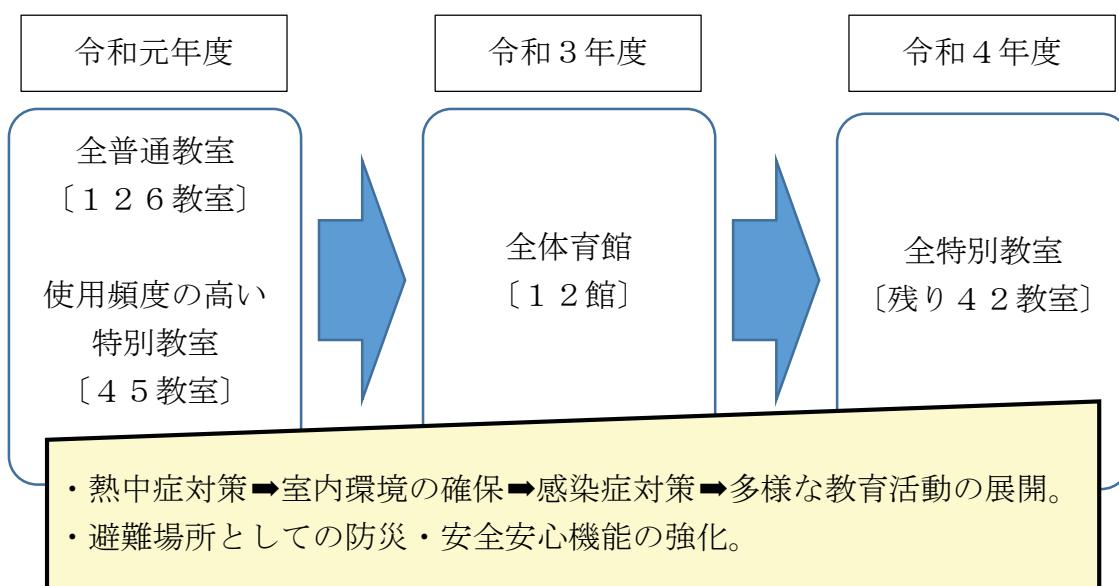
府中市立学校のすべての教室に空調設備を整備し、「主体的で協働的な深い学び」が、校舎全体で展開できる学習環境を府中市に創出する。

これまで、令和元年度には国の整備方針に先んじて全普通教室への設置に着手し、同時に府中市独自の整備事業として使用頻度の高い特別教室への空調整備を完了させており、令和3年度には体育館全館にスポットクーラー及びジェットヒーターを整備している。

令和4年度に全ての特別教室への設置に着手することで、全県的に先駆ける施策として市内学校のすべての教室の空調設備の設置を実現させ、安全・安心で最新な学習環境を児童生徒に提供するとともに、学校教育活動に参画する保護者・地域の協働の機会を拡大し、学校教育への愛着を醸成する。

2 事業内容

- (1) 未設置の特別教室等 42 教室に空調を設置する。
- (2) 令和4年度に設計業務に着手し、令和5年度に工事を予定する。



3 当初予算額 7,150千円

財源内訳	国費	県費	市債	その他	一般財源
			7,100		50

上下高校の魅力開発と支援【継続】 ～上下高校活性化の Next ステージ～

担当課	地域振興課・教育政策課
電話番号	0847-43-7118（地域振興） 0847-43-7176（教育政策）

1 事業の目的

上下高校の魅力をつくり、高めることで、市内はもちろん市外、県外からも選ばれる高校となることを目指す。

高校の魅力づくりについては、新たに配置した専任のコーディネーターとともに高校と地域が中心となり、府中市の施策との連携を図りながら既存事業のブラッシュアップと新たな可能性を広げていくことで、長期的課題としての高校の魅力づくりに取り組む。

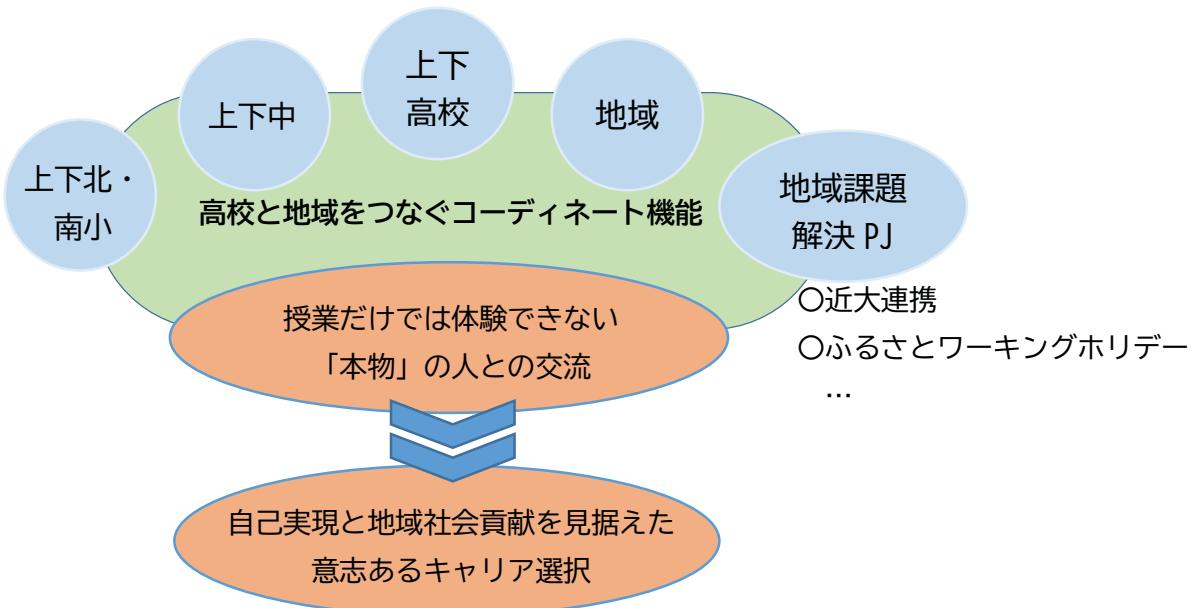
一方、短期的な取組として、天領あやめ塾の充実・強化、下校支援の取組にも継続して取り組む。

2 事業内容

(1) コーディネート機能の発揮による魅力づくり

上下高校の魅力づくりを担う専任人材がコーディネート機能を発揮することにより、学校・地域・行政の連携による学校支援が生徒の学び（成長）につながり、主体的な活動に参画することのできる学校としての魅力を高め、その魅力を発信していく。

具体的には、小中と連携した英語力向上の取組や生徒の希望を叶えるための地域や多様な人を巻き込んだキャリア教育の取組により、地元進学率の向上を目指す。



(2) 天領あやめ塾

進学コースでは、英語・英会話学習の充実等、引き続き進路実現に向けた学力向上を図る。地域魅力づくりコースでは、上下高校生徒が企画運営を行う事業を実施し、小中学生の参加や地域の大人のサポートを得ながら、生徒がいきいきと活動する姿を地域に発信する。

(3) 下校支援の取り組み

専用のスクールバス（タクシー）を予約制で運行することにより、下校時の不便さを解消し、学校生活の充実を図る。

3 当初予算額 6, 888千円

財源内訳	国費	県費	市債	その他	一般財源
	1,066				5,822

(内訳)

事業	事業費	国費	県費	市債	その他	一般財源
上下高校コーディネーター	3,920					3,920
天領あやめ塾	1,600	1,066				534
下校支援の取り組み	1,368					1,368

地域の教育力の向上～公民館から広がる可能性とチャンス～【新規】

担当課	教育政策課
電話番号	0847-43-7176

1 事業の目的

公民館が保有する「学びの機能」と「集いの場の機能」の特性を融合強化し、地域の教育力の向上を図るため、学校教育との接点を強化するとともに、地域住民による協働活動の拠点機能を高める。

コミュニティ・スクールの知見をベースに、公民館が地域とのコーディネーターとなり、地域全体で子供たちの教育に参画し、そのプロセスで地域人材が活躍する地域学校協働活動※を促進させる。

あわせて、市全体の協働的なまちづくりに呼応しつつ、地域住民が多様かつ継続的に集い、地域における協働活動を展開しうる環境機能を公民館として担う。

※地域と学校が「支援・応援」から「連携・協働」の双方向の関係となり、子供の教育を軸にして地域の活性化を図ること。

2 事業内容

(1) 地域の教育力の向上

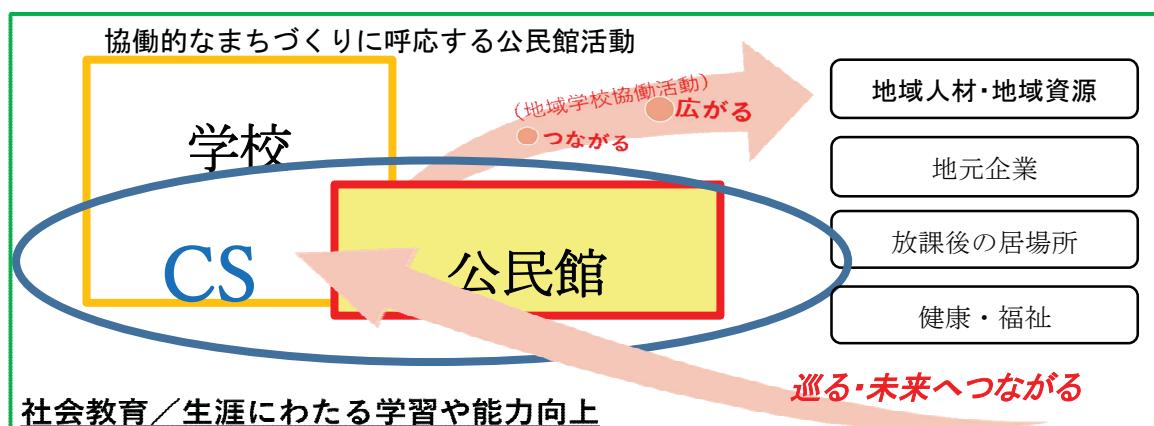
コミュニティ・スクールと一体的に機能する取組を充実させる。また、学びを通して地域協働活動の拠点機能を向上させる。

(2) すべての公民館に活動の中心となる職員を配置

地域の人口や地理的条件に関わらず、ＩＣＴの活用や公民館の連携により学習機会を作りだすため、諸田公民館、河佐公民館にも活動の中心となる職員を配置し、公民館活動の底上げ、また引き上げをしていく。

(3) 市で一の公民館運営審議会を設置

市で一の審議会機能を生かし、市全体のまちづくり及び社会教育の方向性を共有することで、個別の公民館のみならず府中市の公民館活動等に関する議論・審議・情報共有を行う。



3 当初予算額 37, 511千円

財源内訳	国費	県費	市債	その他	一般財源
					37,511

i-coreFUCHU を活用した賑わいづくり 【継続】

担当課	i-coreFUCHU 推進課
電話番号	0847-43-7221

1 事業の目的

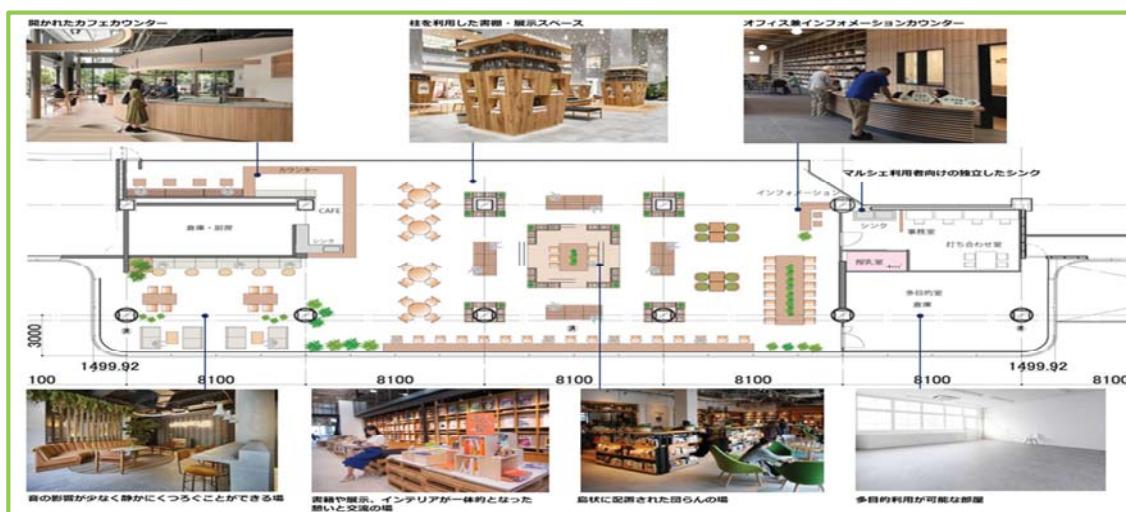
令和3年7月に府中天満屋全館リニューアルオープンに合わせ、府中版ネウボラ「府中市子育てステーションちゅちゅ」、芝生広場、多目的スペースが先行オープンした。週末にはマルシェや音楽イベントが開催され、子育て世代、若者等で賑わっており、令和3年12月末現在で5万4千人を超える来場を数えた。

令和4年度では、検討委員会による残りエリアの方向性の検討や、スマートスタート、トライ&エラーの視点に基づく分割整備に向けた設計に取り掛かることとしており、現在の利用者層からさらなる利用者層の獲得拡大に向け、施設のプランディングを構築していく。

2 事業内容

- (1) 株式会社天満屋ストアから無償譲渡された府中天満屋2階の約半分のうち、第1期整備エリア以外の未整備エリア（【Cエリア、Dエリア】）のうち、Dエリアのオープンカフェなどを先行して整備するための設計を行う。
- (2) Dエリアの整備内容について、検討委員会での意見を踏まえ、事業内容を精査するとともに、引き続き情報収集や内外的要因の整理を進める。また、施設全体の管理運営について、イベントの開催や企画を民間と協業しながら実施し、民間参画の可能性を模索する。

【Dエリア整備イメージ】



3 当初予算額 11,984千円

財源内訳	国費	県費	市債	その他	一般財源
			11,400		584

グランドデザイン実現に向けたステップ【一部新規】

担当課	都市デザイン課都市計画係
電話番号	0847-43-7159

1 事業の目的

令和3年度、府中市グランドデザインの実現に向け、i-coreFUCHU、道の駅、文化センター、天満屋等の拠点施設が集中する駅南エリア「にぎわいと交流のエリア」において、隣接する市民プール計画を念頭に公共空間（仮称）PicLikePark（岡田木材跡）での社会実験を実施、周辺施設から回遊滞在する人々を確認でき、同時に担い手側となる参加者も現れた。令和4年度では、具体的な整備内容を検証するための社会実験を行い整備に向け全体像を明確にする。

また、こどもの国を中心とするエリア「子どものMIRAI創造エリア」では、児童館の外遊びとしての公園整備、河川敷を含む豊かな自然環境を活かし、子どもや家族も楽しめる空間づくりを行う。

それぞれの拠点施設での取組を合わせ、エリアの価値を高め、それらをつなぎ周辺へ波及することで変化を促し、エリア全体の賑わいを創出する。

2 事業内容

(1) PicLike

府中駅南の公共空間（仮称）PicLikePark 整備に向けた社会実験を昨年度に引き続き実施する。今年度は、昨年度実施する中で出たアイデアを元に整備後の具体的な整備イメージの想定しつつ活用方法を検証する。市民や来街者が「（主体的に）～したくなる」「場」の提供を目指し、整備方針（案）をまとめる。



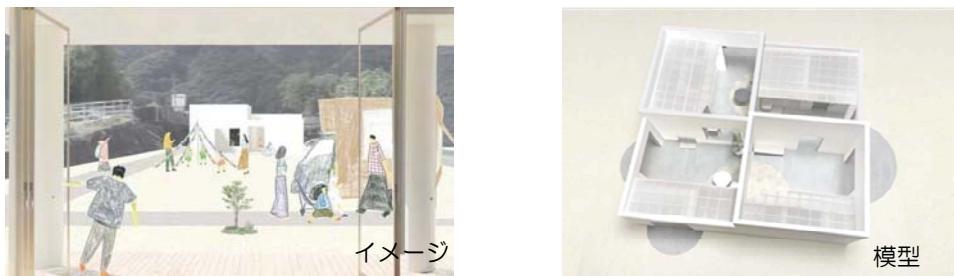
(2) 府中駅周辺整備に向けた構想【新規】

府中駅南エリアで行われている取組により生じる賑わいを駅北エリアへ波及させるため、駅北口市街地のあり方や令和3年度実施の測量成果を基に駅南北市街地の接続方法等について関係団体、交通事業者等の意見調整を図りながら、整備内容の検討を進める。

(3) ひろしま建築学生チャレンジコンペトイレ

こどもの国公園については、複合遊具整備に続き、令和3年度に実施した「ひろ

しま建築学生チャレンジコンペ 2021@びんごふちゅう」で、全国の学生からの応募の中でデザイン性に優れ、景観にマッチした提案であった「トイレが集まる、トイレに集まる」を採用し、トイレユニットをホールで繋げる特色を持った年齢、性別、障がいの有無に関わらず誰もが利用しやすい機能性の高いトイレを整備する。



(4) 河川敷及び周辺道路の整備【新規】

児童館・公園周辺の河川空間については、子どもが水遊びを通して自然に親しみ学べる川岸、市民や来街者がゆったりと過ごせる河川広場、インターロッキング等設備が老朽化している桜づつみ等、一体的な整備を行う。合わせて、エリア間を接続し駅周辺エリア等への人の流れを作るため、道路整備（府中8号線外）を行う。



グランドデザイン将来イメージ

項目	R04	R05	R06
都市再生整備計画事業		事業（第3期 令和3～7年度）	
子どものMIRAI創造エリア	公園 トイレ	トイレ工事 完成披露	
	河川敷	設計 → 整備	
	道路	設計 → 整備	
にぎわいと交流のエリア	駅南広場	プール建設（地域振興課） 社会実験「PicLike」	(仮称) PicLikePark 方針決定、用地購入
	駅周辺 関連	J R等協議 基本計画	設計 予備設計
			都市計画変更

3 当初予算額 195,000千円

財源内訳	国費	県費	市債	その他	一般財源
	83,500		94,500		17,000

(内訳)

事業	事業費	国費	県費	市債	その他	一般財源
PicLike	7,000					7,000
府中駅周辺整備に向けた構想	10,000					10,000
チャレンジコンペトイレ	51,000	21,000		30,000		
河川敷整備、道路整備	127,000	62,500		64,500		

ドローンの実証支援から日本有数の産業の集積地へ【一部新規】

担当課	政策企画課政策企画チーム
電話番号	0847-43-7239

1 事業の目的

本市には、ドローンメーカーがあり独自技術を用いた製造を行っている。また、本市は早くからドローンをまちづくりに起用し（行政：平成30年度に物流の実証実験、令和元年度にドローンに特化したファブラボの設置、令和2年度に小中学校でのプログラミング教育、令和3年度に防災関係でのドローン運用協定締結等。民間：市内の県立高校で操縦者育成、レースの実施等）、市民のドローンに対する理解も深まっており、近年、関係者からの事業の提案などが多く寄せられている。加えて、令和4年12月にレベル4の飛行（有人地帯、目視外自動飛行）が可能となることやSociety5.0、カーボンニュートラルなど国の多くの施策においてドローンの活用が掲げられるなど、成長産業としての期待が高まっている。

こうした背景を生かし、ドローンに関する実証実験の支援や活用に積極的に取り組むことで、産業、人材、研究機関等が集積する「ドローンのまち」を目指す。

2 事業内容

(1) 実証実験の実施及び実施支援事業【新規】

本市の地域課題を解決するとともに産業の成長を図るため、ドローンを積極的に活用するとともに、実証実験に必要となる場所、財政、制度等の支援を総合的に実施する。

(2) ドローンコミュニティ運営事業【新規】

実証実験、フェス等を通じて本市と関係を持った事業者、団体等との関係を継続させ、発展させる場（コミュニティ）を構築し、産業集積に向けた礎を作る。

(3) ワンストップ窓口/マッチング事業【新規】

ドローンの利用、実証実験等の問合せへの対応、また、事業者と市、事業者と事業者をマッチングする窓口機能を設け、産業の本市への誘導を図る。

(4) 広報、プロモーション

レース全国大会や総合的なイベントを行うフェス、ファブラボの運営等を通じて本市の認知度を向上させるとともにドローンの社会受容性を高めることで、事業が実施しやすい環境を整える。

3 当初予算額 26,962千円

財源内訳	国費	県費	市債	その他	一般財源
	11,500				15,462

(内訳)

事業	事業費	国費	県費	市債	その他	一般財源
実証実験の実施及び実施支援事業	13,000	6,500				6,500
ドローンコミュニティ運営事業						
ワンストップ窓口/マッチング事業	5,500	2,750				2,750
広報、プロモーション	8,462	2,250				6,212

民間事業者のノウハウを活用したキャンプ場づくり【新規】

担当課	観光課観光振興係
電話番号	0847-43-7141

1 事業の目的

羽嵩湖森林公園キャンプ場、河佐峠キャンプ場及び矢野温泉公園四季の里キャンプ場の3つのキャンプ場において、更なる誘客に向けた利用者目線による施設運営や魅力的な自主事業の実施など、民間事業者のノウハウやアイデアを取り入れるために行ったサウンディング型市場調査を基に、これまで協力を受けたコンサルティング会社に引き続き支援を得ながら新たな事業者を選定し、利用者にとって快適で満足度の高い受入環境づくりや持続可能な施設運営を目指していく。

2 事業内容

(1) 民間事業者による新たな指定管理者の公募

キャンプ場施設の指定管理者公募に向け、魅力ある観光施設として活用するため、令和3年度に実施したサウンディングによる市場調査の結果を踏まえるとともに、応募を検討している事業者からより具体的な意向を深堀りすることで、稼ぐ施設としてのノウハウや新たな事業アイデアを反映できる公募条件を具体化し、新たな指定管理者への円滑な移行につなげる。

(2) キャンプ場でのワーケーション事業の推進

キャンプ場を活用したワーケーション事業について、指定管理者の公募に当たっても、このワーケーションスポットの活用に向けたアイデアを事業者から募集するとともに、新たな指定管理者の決定後も、コンサルティング会社からの助言を得ながら、市と新事業者との間で、次年度からの利用促進策や事業改善に向けた検討を進める。

3 スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
			●		●		●	●	●		
基本構想策定 事業者説明会			募集準備		議会	募集	選定	議会	協定締結		

4 当初予算額 3,300千円

財源内訳	国費	県費	市債	その他	一般財源
					3,300

歴史的建造物の保存・活用事業【一部新規】

担当課	観光課観光振興係
電話番号	0847-43-7141

1 事業の目的

恋しき、翁座に代表される歴史的建造物については、建物としての魅力を保存するだけでなく、周辺に点在する石州街道出口通りや上下白壁の町並みなど、魅力ある歴史的・文化的観光資源も活かしながらそれぞれのエリア内での回遊性を高め、相互のエリアでの周遊も促進していくことを基本とする保存・活用策を推進する。

2 事業内容

(1) 恋しき周辺での分散型ホテルを核としたまちづくり【新規】

恋しきを石州街道出口通りなどの観光資源と一体となって活用していくため、恋しきの離れや周辺エリア内の古民家・古建築などをリノベーションして、宿泊・飲食・ショッピング・アクティビティなど、びんご府中ならではの特別な体験を作るとともに、そこに暮らす地元の人々と観光客との交流がまちなかの各所で生まれるまちづくりに向けて取り組む。

このため、宿泊や飲食などの事業化の意思がある民間事業者や、まちづくりに協力する市民と連携し、分散型ホテルを核としたまちづくりに向けた推進体制を構築する。



(2) 恋しきの保存・活用

恋しきが持つ建物としての魅力を保存するため、主屋や塀、離れなど老朽化した箇所について、長寿命化を図るために修繕を実施する。

また、恋しきの持つ歴史的建築物としての本質的な価値を明らかにした上で、その保存と活用の基本的な構想（計画）を策定するとともに、魅力ある観光まちづくりにも資するよう、歴史的建築物の保存と活用を促進する条例を制定する。

(3) 翁座の保存・活用

翁座が持つ建物としての魅力を保存し、上下地域の観光拠点施設として活用するため、翁座活用検討委員会を開催する。

また、前年度から引き続き、週末や観光シーズンに一般公開することで、年間を通じた上下白壁の町並みエリア内での回遊



性を高め、府中エリアにもつながる観光ルートの磨き上げや体験メニューの充実を図ることで、観光消費額を向上させ、稼ぐ観光を実現していく。

(4) 上下地区における歴史的建造物群の保存に向けた検討

上下白壁の町並み地区の歴史的価値を有する建造物群(町並み景観)を保存・活用する取組について、「重要伝統的建造物群保存地区」などの国における諸制度の活用などに向けた検討を開始する。

3 当初予算額 24, 837千円

財源内訳	国費	県費	市債	その他	一般財源
	2,900		16,500		5,437

(内訳)

事業	事業費	国費	県費	市債	その他	一般財源
分散型ホテル事業	987					987
恋しきの保存・活用	22,720	2,900		16,500		3,320
翁座の保存・活用	1,130					1,130

観光振興ビジョンの実現【継続】

担当課	観光課観光振興係
電話番号	0847-43-7141

1 事業の目的

観光振興ビジョンの中間年を迎えることにより、観光事業者の育成支援、受入環境整備など、観光商品づくりから、受入環境整備、誘客につながるプロモーションまでの継続した取組みにより、観光を活用した地域振興に取り組む住民団体が自立し、稼ぐ観光の実践につなげる施策を展開する。

また、観光振興ビジョンの中間年となることから、隔年での調査となる観光指標のモニタリングを行い、これまでの進捗状況を評価する。

2 事業内容

(1) 観光地域づくりを通じた観光商品づくり・受入環境の整備

ア 地域再生マネージャー事業 ~(-財)地域総合整備財団(ふるさと財団)による支援事業

観光を持続可能なビジネスとして育成するため、令和3年度に引き続き専門的知識を有する外部専門家を招へいする地域再生マネージャー事業や、観光チャレンジ補助金を活用し、これまで観光商品化に取り組んできた住民団体などによる観光コンテンツのうち、商品化の可能性が高い取組み等を中心に支援する。

【令和4年度の主な取組】

府中エリア： 和紙づくりや座禅などの体験プログラムの磨き上げ、レンタサイクルを活用した商品の開発等

上下エリア： 空き店舗を活用した観光チャレンジショップ、「食」の魅力強化、地元野菜の収穫体験プログラム、地域ガイドの養成等

イ 観光チャレンジ補助金

本市の強みである備後府中焼きの更なる観光活用や、地域で生産された食材を活用したメニュー開発に対する支援を新たに加え、食を中心とした新たな魅力づくりや情報発信を促進する。



(2) 誘客につながるプロモーション

これまで観光地域づくりで商品化に向けて取り組んできた阿字和紙などの地域資源や、本市の強みである歴史まち歩きなどの観光資源、これまで整備を進めているレンタサイクルなどの観光インフラなどを、旅行会社やメディアなどに情報発信するプロモーション事業を強化し、コロナ禍で落ち込む観光需要の回復を目指す。

(3) 観光指標のモニタリング・評価

観光振興ビジョンの数値目標として設定し、隔年での調査項目としている「地域住民の愛着度」のほか、府中市の「認知度」や「来訪意向」等を調査し、外部有識者によるフォローアップ会議で協議することで、計画期間後半で事業の見直しや改善を図る。

3 当初予算額 23,879千円

財源内訳	国費	県費	市債	その他	一般財源
	5,039			8,000	10,840

(内訳)

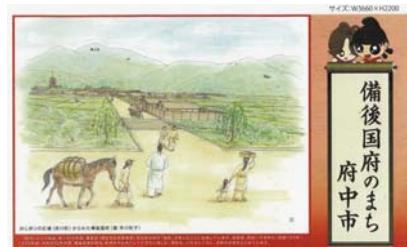
事業	事業費	国費	県費	市債	その他	一般財源
観光地域づくり事業	13,800				8,000	5,800
プロモーション事業	6,420	3,210				3,210
モニタリング・評価	3,659	1,829				1,830

歴史的財産保存・活用事業(備後国府跡)【継続】

担当課	教育政策課文化財室
電話番号	0847-43-7180

1 事業の目的

現在の府中の町並みにも地割として影響を与えていたる“府中市の原点”というべき古代都市遺跡「備後国府跡」(国史跡)について、これまでの調査研究成果に基づき保存と史跡公園整備等を行う。このことにより、府中の目指すべき時間的・空間的“顔”となるエリアが創出され、市民の地域学習や憩いの場を提供することができ、地域愛の醸成、来訪者の回遊性や滞在時間向上につながる。



2 事業内容

(1) 令和4年度事業

- ア 伝吉田寺地区、金龍寺東地区において確認発掘調査を実施する。国府関連遺跡等の調査報告書を作成し、調査指導委員会を開催する。
- イ 保存活用計画（平成30年度）の基本理念に基づいて「整備基本計画」を策定し、史跡指定地等の史跡公園整備等の構想や具体化を図る。
- ウ 普及啓発事業として、歴史フォーラムや各種古代体験事業等を展開する。
- エ 史跡指定地（金龍寺東地区）の一部民有地の補償調査を実施し、史跡公園整備用地の取得を図る。

(2) 事業展開見通し

- | | |
|--------|-------------------------------|
| 令和5年度～ | 整備のための史跡買上の継続推進 |
| 令和6年度～ | 整備のための確認調査（～8年度） |
| 令和8年度～ | 「整備実施計画」の策定に着手 |
| 令和9年度～ | 金龍寺東地区・ツジ地区・伝吉田寺地区で、順次整備工事に着手 |



3 当初予算額 22,336千円

財源内訳	国費	県費	市債	その他	一般財源
	8,418		4,900		9,018

(内訳)

事業	事業費	国費	県費	市債	その他	一般財源
発掘調査等事業	11,210	5,605				5,605
備後国府跡整備基本計画策定	4,258	2,129				2,129
歴史フォーラム開催等活用事業	1,368	684				684
史跡等整備事業	5,500			4,900		600

スポーツを活用した賑わいの創出【新規】

担当課	地域振興課
電話番号	0847-43-7251

1 事業の目的

スポーツは、運動を通じて人々のつながりを深めるだけでなく、スポーツツーリズムとして地域外からの交流人口を拡大させることで、地域経済の活性化や地域ブランドの醸成につながる可能性があるなど、大きな力を秘めている。

府中市には、全日本EV&ゼロハンカーレースやハイブリッドマラソン大会、ドローンレースなど他市町にないオンリーワンのスポーツ資源があることから、こうしたスポーツ資源を活用した取組を引き続き推進していく。

さらに、市民プールや芝生グラウンドの整備などスポーツ施設の充実、プロスポーツチーム等との連携の強化、新たな総合型のスポーツ推進組織の構築などを通じ、スポーツを活用した地域の賑わいを創出することで、健康で活力ある「スポーツのまち府中市」の実現を目指す。

2 事業内容

(1) スポーツ施設の充実

ア 新たな市民プールの整備

府中駅南側に新たな市民プールを建設し、i-coreFUCHU や道の駅びんご府中など府中駅周辺の新たな人の流れをつくり、エリア全体の賑わいにつなげる。

イ 人工芝グラウンドの整備

上下運動公園にケガの防止や体への負担軽減にもつながる人工芝多目的グラウンドを整備し、県内外からスポーツ合宿や大会を誘致することで、新たな関係人口を呼び、地域経済の活性化につなげていく。

○スケジュール

事業名	令和4年度	令和5年度
新たな市民プール整備事業	↔ プロポーザル	↔ 設計・施工
人工芝グラウンド整備事業	↔ プロポーザル	↔ 設計・施工

※なお、これらの施設整備にあたっては、府中市と繋がりを持つ企業を中心に、企業版ふるさと納税による寄附を呼びかけるなど、財源確保の取組を行う。

(2) プロスポーツチーム等との連携

プロスポーツやトップアスリートのパフォーマンスは、感動や興奮、熱狂を生み出すなど、多くの人々を惹きつける魅力的なコンテンツであり、人とまちに大きな希望や勇気、元気をもたらすことから、プロスポーツチーム等と連携・協働することで、トップアスリートと交流する機会を創出し、スポーツへの興味・関心を高めていく。

ア サンフレッヂュ広島との連携

- ・リアルとバーチャルによるハイブリッド型のサッカー教室の開催
- ・JR広島駅北口（旧JR社屋跡地）コミュニティ広場へのブース出展

イ スフィーダ備後府中との協働

- ・新たに誕生した地域密着型女子サッカークラブチームによる地域活性化

ウ 岡山シーガルズとの連携

- ・TTCアリーナを会場にフレンドリーマッチ（練習試合）の開催

(3) 新たな総合型のスポーツ推進組織の構築

従来の体育活動に関する活動だけでなく、新たなスポーツの価値（健康長寿・フレイル予防、スポーツを通じた地域経済活性化等）を踏まえて時代にマッチした活動を展開していくため、スポーツ推進を担う新たな総合型の組織の構築を目指す。

令和4年度は、新たなプラットフォームとして、市民等をはじめ、市、教育委員会、府中市体育協会等のスポーツ関連団体、まちづくり振興公社等の関係事業者等で構成する検討委員会を立ち上げ、新たな組織づくりの検討に着手する。

3 当初予算額 361,308千円

財源内訳	国費	県費	市債	その他	一般財源
			350,000		11,308

(内訳)

事業	事業費	国費	県費	市債	その他	一般財源
新たな市民プール整備事業	55,000			50,000		5,000
人工芝グラウンド整備事業	300,000			300,000		
プロスポーツチーム等との連携	500					500
新たな総合型のスポーツ推進組織の構築	5,808					5,808

内水浸水対策事業【一部新規】

担当課	上水下水道課下水工務係
電話番号	0847-43-7163

1 事業の目的

平成 30 年 7 月豪雨の際、市内各所で内水浸水被害（床上・床下）が発生したことから、緊急対策のうちハード整備では、樋門の改修・固定式大型ポンプ導入・可搬式小型ポンプ導入を行うとともに、ソフト対策では、止水板の設置や住宅の嵩上げに対する市単独の支援制度を創設し、浸水被害の軽減するための取組をおこなったところである。とりわけ、浸水被害の大きかった中須西之町を含む中須排水区については、将来にわたり安全で安心して生活できる地域づくりのため、さらなる内水浸水対策を行う。

2 事業内容

浸水対策検討委員会で決定したポンプ機能の強化として、新たに中須ポンプ場を整備する。

(1) 中須ポンプ場整備

全体計画 $9.8 \text{ m}^3/\text{秒}$ のうち、第 1 期整備として $5.0 \text{ m}^3/\text{秒}$ の整備を行う。

(2) スケジュール(第1期分)

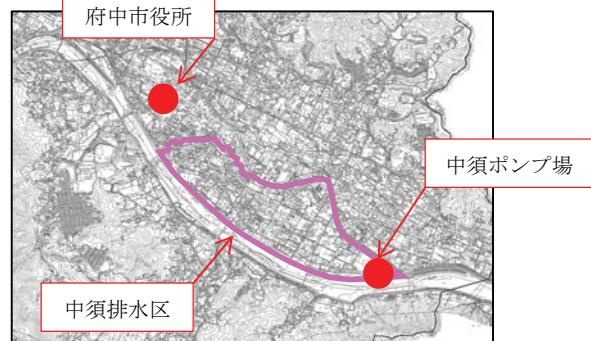
令和 4 年度 基本設計

令和 5 年度 詳細設計（予定）

令和 6 年度から令和 8 年度 工事（予定）※令和 8 年度中内の供用開始を目標とする



平成 30 年 7 月豪雨における浸水状況



中須排水区と中須ポンプ場位置図

3 当初予算額 16,956 千円 ※下水道事業会計

- ・大規模雨水処理施設整備事業 12,456 千円
- ・止水板設置補助金 2,500 千円 ・住宅嵩上げ補助金 2,000 千円

財源内訳	国費	県費	市債	その他	一般財源
	6,228		6,200		4,528

フレイル予防・健康習慣事業【一部新規】

担当課	健康推進課元気づくり係 介護保険課長寿さぽーと係
電話番号	0847-47-1310 (健康推進課) 0847-40-0223 (介護保険課)

1 事業の目的

高齢化が進行し医療・介護が必要な人が増加することが見込まれる中、現役世代から高齢期におけるフレイル予防対策として、ICTなどのデジタル技術も活用した年代や状態に応じたフレイルプログラムを提供し、健康寿命の延伸を図る。

2 事業内容

(1) データの見える化

KDB（健診・医療・介護）と ASTER II（生活機能評価）のデータを収集し、個人の「健康カルテ」を作成する。

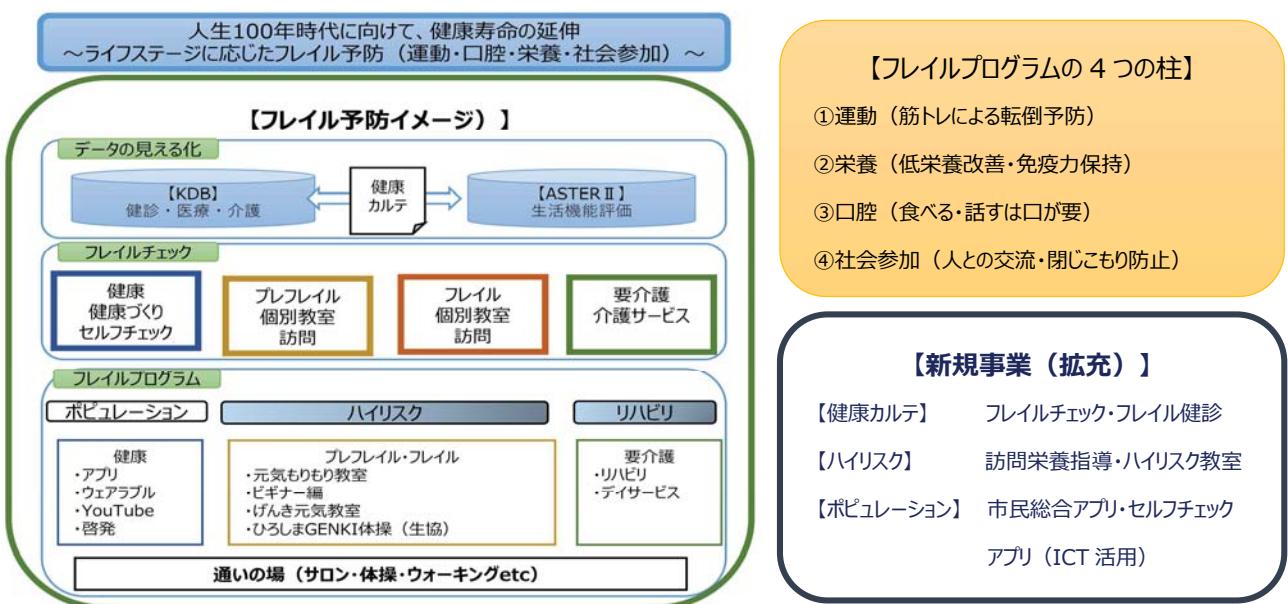
(2) フレイルチェック

健康カルテ（個人データ）の情報から「健康」「プレフレイル」「フレイル」「要介護」の4つのカテゴリーに分類する。

(3) フレイルプログラム

4つのカテゴリーに応じたフレイルプログラムを実施し改善を図る。

【全体イメージ】



3 当初予算額 介護予防普及啓発事業 51, 354千円

※介護保険特別会計

財源内訳	国費	県費	市債	その他	一般財源
	12,839	6,419	0	25,677	6,419

市民の健康づくり（健診）事業【新規】

担当課	健康推進課元気づくり係 市民課医療保険係
電話番号	0847-47-1310（健康推進課） 0847-43-7137（市民課）

1 事業の目的

コロナ禍による受診控えで、健（検）診でみつかる、生活習慣病やがんの症例が減少し、診断や治療に遅れが出ているのではないかと危惧している。

国民健康保険加入者を対象にしたドック健診については、自己負担額を下げるなどの受診しやすい環境を整える事や、受診率の特に低い40代、50代に向けた健（検）診の啓発により、健（検）診を受診することへのハードルを下げ、受診者数の増加を目指す。

2 事業内容

(1) 国保人間ドック・脳ドック健診の受診勧奨

ア 申込方法の変更

窓口受付又は申込ハガキ送付 → コールセンター又はWeb予約

イ 受診定員の変更

人間ドック 380人 → 420人

ウ 助成方法の変更

受診者への助成額……健診費用の7割 → 一律30,000円

※実質的に自己負担の軽減となる

(2) 働く世代のがん検診【新規】

働く世代が気軽に受診できるよう、肺がん検診+大腸がん検診をセット（要予約50名限定）にした健診メニューの提供とともに、子ども連れでも楽しめるような展示等を行い、健診受診の啓発を行う。



イメージ：大腸がん啓発、パネル展示など

3 当初予算額 13,458千円 ※一部は国民健康保険特別会計

財源内訳	国費	県費	市債	その他	一般財源
	12,219				1,239

（内訳）

事業	事業費	国費	県費	市債	その他	一般財源
受診勧奨 ※国保会計	12,219		12,219			
働く世代のがん検診	1,239					1,239

湯が丘病院施設改築事業【新規】

担当課	湯が丘病院事務局 土木課
電話番号	0847-62-2238（湯が丘） 0847-43-7160（土木）

1 事業の目的

湯が丘病院は、昭和36年の病院開設以来60年間にわたり県東北部の中山間地域において精神科医療を提供する医療機関として重要な役割を担ってきたが、建築後50年を超える建物も存在するなど施設の老朽化が目立つようになった。

将来にわたり地域社会に必要な精神科医療を安定的に提供し住民の心の健康を守る病院として存在し続けるため、病院機能の充実と療養環境の改善を図る。

2 事業内容

(1) 湯が丘病院施設のリニューアル

ア 湯が丘病院の建替計画

令和8年度完成を目指して、基本計画の策定及び基本設計・実施設計を行う。

イ リニューアルオープンに向けた人材育成の取組

近年の経営状況を職員間で共有し、経営意識に向けた啓発や業務の効率化に取り組む。また、研修等への参加を促すことでスキルアップを図る。

(2) レッドゾーンの解消（令和3年度からの繰越事業）

湯が丘病院の建物の一部がレッドゾーンにあたることが判明したことから、病院の安全を守るため、県の支援を受けながら急傾斜工事を行い、レッドゾーンを解消する。

	R3	R4	R5	R6	R7	R8
湯が丘病院の建替計画		基本設計・実施設計			建替え工事	
レッドゾーンの解消	測量・設計			急傾斜工事		

3 当初予算額 106,400千円 ※病院事業会計

財源内訳	国費	県費	市債	その他	一般財源
			74,900		31,500

【参考】レッドゾーン解消のための急傾斜対策事業（令和3年度一般会計繰越事業）

事業	事業費	国費	県費	市債	その他	一般財源
レッドゾーン解消	50,000			50,000		

住生活基本計画の策定（府中市の暮らし方）【継続】

担当課	都市デザイン課住宅政策係
電話番号	0847-43-7156

1 事業の目的

人口減少、少子高齢化、コミュニティの希薄化など、生活環境の質が低下しつつある。また、増加する空き家の対策や脱炭素社会に向けた住宅循環システムの構築など良質な住宅ストックの形成が必要となっている。一方、新たな日常や頻発・激甚化する災害などの社会環境の変化に対応した住まいの実現が求められている。

この状況を踏まえ、生活を支える基盤となる住宅施策に行政が積極的に関わることにより、豊かなライフスタイルの構築やコミュニティの維持・向上を図り、安全で安心して暮らし続けられるまちづくりを目指す。

2 事業内容

区分	内 容
住生活基本計画策定（ゆとりと魅力ある居住環境の創出モデル事業）	近年、空家等特措法や住宅セーフティネット法により、空き家対策や居住支援の取組を個別に行っていていることから住宅政策に関わる市としての基本的な考え方をまとめる。合わせて、広島県の「ゆとりと魅力ある居住環境の創出モデル事業」と連携し策定することで地域の特性を生かしたゆとりと魅力ある居住環境の将来ビジョンとしてまとめ、市民に分かりやすく示し、多様な視点から住宅政策を総合的に推進する。
市営住宅長寿命化計画改定	市営住宅ストックの現状と課題の把握をし、活用及び長寿命化に資する改善のあり方を検討し、効率的かつ市の政策に即した維持管理及び円滑な整備を推進する。
空家等対策計画の推進	計画策定より5年が経過し、空家特措法による特定空家等の対策が進んでいる。勧告まで進んだが、未だ解決に至らず特定空家等の老朽化が進み倒壊の危険性が増している。このためさらに法による措置を進め、命令を行うとともに所有者等による対策が行われない場合は行政代執行の手続き進めるものとする。

3 スケジュール

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
住生活基本計画策定		●			●		●		●			
市営住宅長寿命化計画改定					計画策定							
空家等対策計画の推進				●	●		●		●		費用回収	

4 当初予算額 13,059千円

財源内訳	国費	県費	市債	その他	一般財源
	3,757	2,000			7,302

(内訳)

事業	事業費	国費	県費	市債	その他	一般財源
住生活基本計画策定	4,298		2,000			2,298
市営住宅長寿命化計画改定	3,461	1,557				1,904
空家等対策計画の推進	5,300	2,200				3,100

リモート相談（多点間連携）構築事業【新規】

担当課	情報政策課
電話番号	0847-43-7242

1 事業の目的

業務の多様化と分散化による業務連携の増加により、行政サービスを提供する過程で他部署との職員間連携は必須となっている。また、本庁と支所間など、離れた拠点施設間での連携も市民サービスを提供する上で欠かせないものである。

今事業では市民サービスの向上を目的とし、職員間の相談や資料の共有・他拠点間をリアルタイムに連携環境の整備を行い、府外職場職員では対応が難しかった業務について、担当者間のリアルタイム連携による対応を目指し、次段階では、市民向けリモート相談へ拡張するなど市民サービス向上を目指す。

2 事業内容

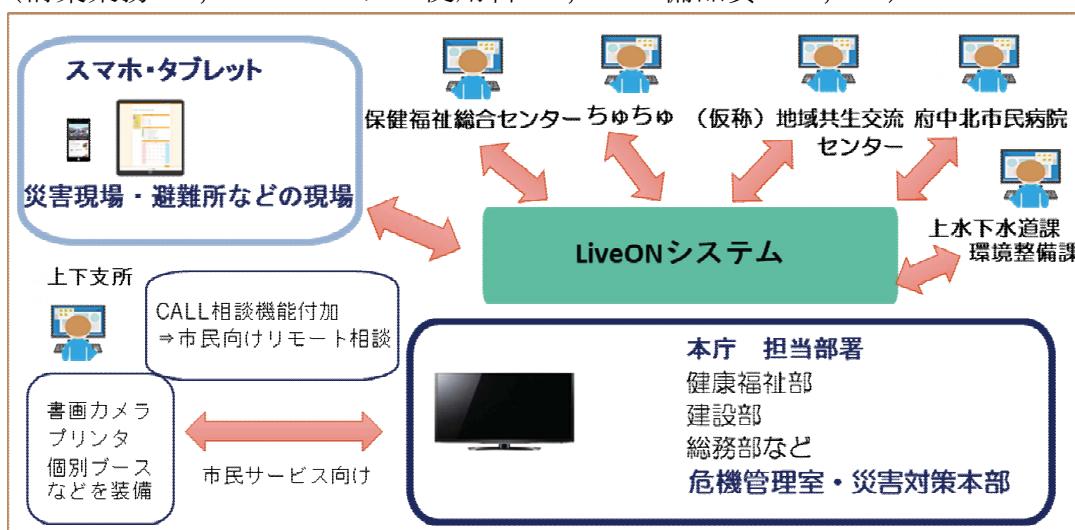
業務効率と市民サービスの平準化（どこでも、同等のサービスの提供）、および市民の利便性の向上を目指すため、離れた拠点施設間での連携を強化する。

(1) 連携業務

- ア 本庁以外の拠点での本庁レベルのサービスの提供（問い合わせ・処理）
- イ 業務関連の問い合わせの効率化（書類などの共有や画像を含めた会話）

(2) 多点間連携・リモート相談システムの構築

（構築業務 3,300 システム使用料 1,591 備品費 13,735）



3 当初予算額 20, 526千円

財源内訳	国費	県費	市債	その他	一般財源
					20,526

※地方創生臨時交付金対象事業

地域おこしハッカソン企画業務～DX～【新規】

担当課	情報政策課情報政策係
電話番号	0847-43-7242

1 事業の目的

地域の賑わいや町おこしなど市の取り組んでいる課題について、ハッカソンのテーマ企画、運営、優秀者へのインセンティブ企画などを民間センスで企画および実施計画の策定を行う。

ハッカソンは、テーマ指定型とし、駅周辺整備と連動したテーマを設定（商工、i-coreFUCHU、都市デザイン、地域振興）、市が解決したい分野を官民一体となって取り組む形で行い、ハッカソンの期間は2～3ヶ月として、実施可能な計画と提案を抽出し、インセンティブを活用して優秀者にはそれを府中市で実践していただく。これを継続することにより、賑わいの喚起と全国への情報発信を狙う。

2 事業内容

- テーマ選定 (行政との協働作)
- ハッカソン・イベント企画
- インセンティブ企画
- 応募企画
- ハッカソン運営
- 優秀者の計画実施に関する支援



3 当初予算額 2,200千円

財源内訳	国費	県費	市債	その他	一般財源
					2,200

